

4-(1)-⑱ 教育力向上の取り組みの概要

区分	機能
第1回 学内研修会	<p>平成 27 年 3 月 11 日 教育力向上プログラム「学生の主体性を引き出す授業構成」</p> <p>学生の主体性を引き出すアクティブラーニングで重要な、ファシリテーションとコーチングについて理解を深め、授業で学生に対応する際の手法について考えました。</p> <p>参加教職員:24 名</p>
第2回 学内研修会	<p>平成 27 年 4 月 22 日 教育力向上プログラム「授業コンテンツの検討・模擬授業」</p> <p>学生の主体性を引き出すアクティブラーニングとはどのような事か教員同士理解を深め、学生が主体的に学ぶよう、授業での工夫や内容について意見交換し、より良い授業について考えました。</p> <p>参加職員:20 名</p>
第3回 学内研修会	<p>平成 27 年 7 月 22 日 全学 FD 研修「学生の授業理解の促進」</p> <p>学生に授業内容をより理解してもらうための工夫や手法、教員同士自身の課題や工夫、取組みを共有し、授業の様々な場面でどのような指導が効果あるか意見交換し授業指導の向上をはかりました。</p> <p>参加教員:40 名</p>
第4回 学内研修会	<p>平成 27 年 9 月 18 日 教育力向上プログラム「授業コンテンツの検証」</p> <p>より良い授業を目指し実践した事例や結果を共有し、目指す成果と課題について検証をしました。引き続き後期の授業展開で実践と検証を継続していきます。</p> <p>参加教員:23 名</p>
第5回 学内研修会	<p>平成 27 年 11 月 14 日 教育力向上プログラム「授業コンテンツの検討・模擬授業」の開催</p> <p>入学時から、主体的に学ぶ姿勢と意欲を身に付けてもらうことをテーマに、大学 1 年生の最初の授業でどのような内容が適切か、検討し、模擬授業を通してその効果や課題を検証しました。</p> <p>参加教員:23 名</p>
第6回 学内研修会	<p>平成 27 年 11 月 25 日 全学 FD 研修「ルーブリックへの理解」の開催</p> <p>「学生の“やる気”を引き出す成績評価」とのテーマで、ステップアップの目標設定や学生が取り組むべき事柄の明確化、成績評価となるルーブリックについて意見交換し理解を深めました。</p> <p>参加教員:46 名</p>

<p>授業評価アンケート</p>	<p>平成 27 年度 「授業評価アンケート」を実施 開講した全科目について、受講学生による授業に対するアンケートを実施し、授業改善にむけて担当教員へのフィードバックと授業内容向上にむけた FD 活動への展開などに活用しました。</p>
<p>学修・生活アンケート</p>	<p>平成 27 年 11 月 「学修・生活アンケート」を実施 本学生の学習への意欲、学生としての意識、生活状況等を把握し、教育内容や学習環境、学生生活の改善にむけアンケートを実施しました。 調査は、本学生専用の学内学修 WEB サイトの回答システムを活用し、1,368 名(全学生の 59.1%)から 50 項目への回答を得て、改善活動に活かしています。</p>
<p>FDネットワークつばさ</p>	<p>東日本に所在する国公立大学で組織・連携する“FDネットワーク“つばさ”に参加し、授業改善、カリキュラム・教育制度改革などについて取り組んでいます。 5 月 学生の主体的な学び、大学教育と学生支援、IR:アンケートの分析と活用について協議し、本学の事業にフィードバックしました。 9 月 SD 研修として「大学職員のリーダーシップの醸成」をテーマとした職員研修会に参加し、教育現場とどうかかわり、教育目標の達成に向けて、事務局としてどう支援していくか理解を深めました。 1 月 学生が自ら学びの目標を設定し活動した結果について発表し、多面的な視点から評価やより良くするための改善点などフィードバックを受け、今後の学習への視座を得る機会となりました。</p>
<p>教務事務の改善</p>	<p>8 月 宮城県地区私立大学教務事務研究協議会(15 大学・短大で組織)に参加し、カリキュラム・学生支援・関係法令改正対応などについて、教務、学生支援、進路支援等を担当する職員が毎年定期的に研究協議を重ねています。</p>